

8-5-4 テクリス専門委員会

1. 主な活動の記録

(1) 専門委員会開催

専門委員会開催：6回

(2) 活動の目的

公共事業の発注に大きな役割を果たすようになったテクリスに関する(一財)日本建設情報総合センター(JACIC)への業界窓口を担当する。

テクリスの透明性、公正性を向上し、活用の場を拡大させるための意見交換の場とする。

(3) 主な内容

a) コリンズ・テクリスシステムへの対応

令和5年8月21日にコリンズ・テクリスシステムの機器更新(リプレース)と機能改良が完了し、リリースされた。委員所属企業にて改良された機能、新たに追加された機能について確認を行い、意見交換をして改良要望等を取り纏めた。

令和6年2月19日に一部システム改良が実施された。未周知の改良が見受けられたため、JACICへ改良内容の照会を行った。

b) コリンズ・テクリス利用者会議への対応

令和5年11月にJACICより、今年度の利用者会議開催に関する説明を頂くとともに、利用者会議の資料とするアンケートの実施について説明頂いた。

利用者会議の資料となるアンケートについて、事前説明頂いた設問内容を確認し、機能改良等に関する各委員所属企業の意見を取り纏め、アンケート回答例を作成した。会員企業へアンケート回答の協力依頼を周知するとともに、アンケート回答例を参考として配布した。

令和6年1月25日、コリンズ・テクリス利用者会議に出席し、コリンズ・テクリスシステムに関する対応等について確認を行った。テクリス専門委員会が会員企業に実施したテクリス登録システムに関するアンケート結果と委員の意見を取り纏め、JACICへテクリス登録システム等に関する改良要望として伝えた。また、

発注機関およびJACICへ引き続き意見交換の実施を要望し回答を頂いた。

c) その他

令和5年8月の機能改良により、発注機関側ではオンラインによる登録内容の確認機能が追加された。今後、オンライン確認機能の利用が増えることを想定し、機能に関する周知を行った。

2. 次年度の活動について

今後のコリンズ・テクリスシステムの部分機能改良について、都度、JACICへ状況等の確認を行い、会員企業に情報提供を行う。

令和5年度のシステム機能改良を踏まえ、今後の機能改良に関する要望等について、JACICとの意見交換を実施する。

その他、コリンズ・テクリス登録システムの提供元であるJACICとの意見交換を継続的に実施し、得られた情報については速やかに会員企業に提供する。

引き続き、テクリス登録データを活用したシステム等の動向や、「海外インフラプロジェクト技術者認定・表彰制度」に基づく国土交通省の認定を受けている業務のテクリス登録に関すること、電子入札、電子契約等についてもテクリスとの連携に関する動向について継続して注視していく。

(テクリス専門委員会委員長 佐藤 美緒)